

地球温暖化対策推進国民運動「チーム・マイナス6%」参加にあたって

有限会社金具屋ホテル／歴史の宿金具屋
代表取締役 八代目西山平四郎

本日は歴史の宿金具屋をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

私ども有限会社金具屋ホテル／歴史の宿金具屋は、地球温暖化対策推進国民運動「チーム・マイナス6%」に参加を申請、承認をいただき現在取り組んでおります。

地球温暖化対策推進国民運動「チーム・マイナス6%」

当社では業種にかかわらず、すべての企業が賛同すべきものだと考えています。

しかし旅館業とエコ、ともすればまったく正反対のイメージがあるかもしれません。

旅行とはかつてはハレの文化、贅沢なものと言われてきました。旅行だからなにをしてもいい、旅館に来たときくらいなんでも贅沢にしたい、というのが大多数の人間の心理です。

しかし、営業成績のためにいつまでもそのような流れを増長させていることは「旅館」というものの社会的地位の低下にもつながると思っています。

旅館という場所であるからこそ、ここで我々が意識を変え、智恵を使い、またお客様に協力していただくことで、かなりの効果があるのではないのでしょうか。そう思い、今回の運動に参加することを決めました。

実際、この運動に参加することにより、ある客層のお客様はなくなるでしょう。そういうマイナス面も覚悟のうえでの参加申請です。

私どもの旅館は源泉を4つ所有しています。地球の恵みである温泉のおかげで、250年も温泉宿を続けてくることができました。

自然を、地球の資源を大切にし、感謝するという私どもの考えは、今回の運動に近いものがあるのではないかと考えています。地球を救うなどといったおこがましい思いではなく、地球にかける迷惑を少しでも減らせたらという思いなのです。

正直申しまして、経費削減にはなりません。ここ数年の工事と設備の整備に約2000万円かかっています。18室の冬期間の化石燃料の使用はほぼ0になりましたが、当館の湯量では温泉での冷房は実現できません。結局「冷房のためのボイラー」は必要なため、冷房だけのために千数百万の設備をいれました。普通に冷暖房をしていれば、当館の規模では年間の灯油代は350万ほどです。

エコの活動が「がまん」ばかりとは限りません。昔の日本文化には人間と地球にとって「ともによい」ことが数多くあります。人も健康、地球も健康を目指したいと思います。

みなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。

別紙に私どもの具体的な活動内容を紹介しております。ご覧ください。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

金具屋のこれまでの取り組み

■暖房について



- ①温泉熱熱交換による金具屋全 29 室中 18 室の暖房の実現
- ②温泉熱利用による 3 つの宴会場と 3 つの食事処の暖房の実現
- ③温泉利用の「湯たんぽ」の設置
- ④エアコン対応部屋 (11 室) における温度設定「20℃」の呼びかけ

■冷房について

28℃

- ①17 室に網戸の新規設置 (窓を開けて風をとり入れることの推進)
- ②夏場のうちわの用意
- ③夏場の扇風機の貸出
- ④防虫器具の貸出
- ⑤エアコン対応部屋 (11 室) における温度設定「28℃」の呼びかけ
- ⑥集中管理方式冷房装置 (18 室) の稼働の制限
(外気温 23℃以下では運転しません。また稼働は 15:00 ~ 23:00 までとします)

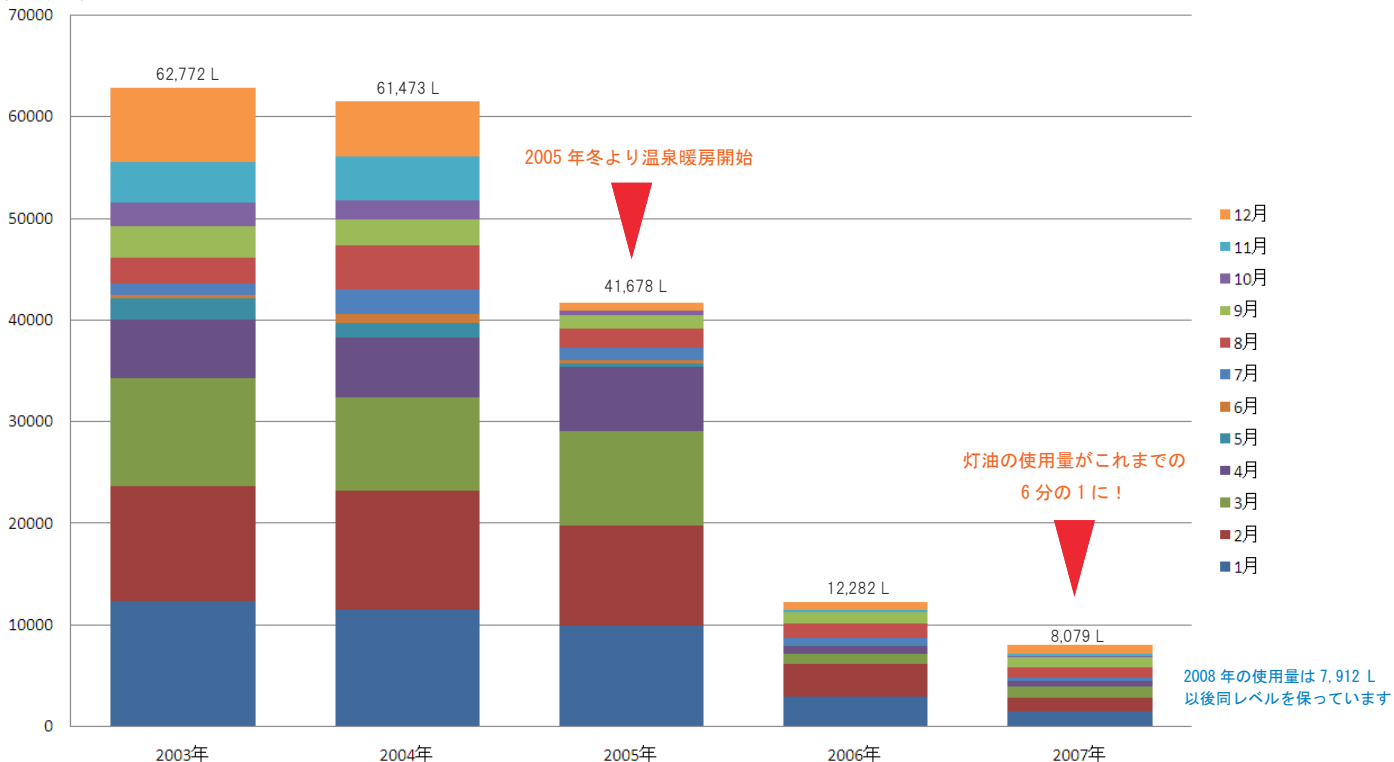
■その他



- ①外観ライトアップは季節により点灯時間をこまめに変更しています。
- ②省エネ電球への移行をすすめています。
- ③大浴場、貸切風呂には水を加えません。(※露天風呂のみ湯換時 5%ほど使用)
源泉 100%の本物の温泉を楽しんでもらいつつ、無駄な水は使いません。
- ④チェックアウト (10:00) からチェックイン (15:00) まで、館内のほとんどの照明を OFF にしています。

金具屋の灯油の使用量の推移

(単位：リットル)



※2003 年以降における電気やガスなど、他資源の使用量の増加はありません。